

2007年10月

報道機関各位

元参議院議員 齊藤 つよし

日米地位協定に関しアメリカ大統領候補宛 質問書提出について

日頃のご奮闘に敬意を表します。

さて、私より別添の質問書を次期大統領候補として出馬を準備されている方達に送付いたしました。共和党12名。民主党8名です。

11月17日までに回答をお願いしてありますが、その結果全員から回答をいただいているか、逆にいただけなかった、あるいは一部の方のみか、様々なケースが考えられますが、いずれにもせよ、お知らせしたいと思います。

現在、我が国ではインド洋における給油継続をめぐり、政府与党と野党側と激しいやりとりがされていますが、日米地位協定はこれ以上に根本的な日米の約束事であると思います。日米安保条約に基づき、我が国土の一部を米軍に提供している根拠となっています。

相手国に聞く前に、我が国の意志が固められていることが当たり前です。しかし、この間の自民・自公政権はいかなる時も改定・見直しに踏み込まず「運用」に終始していることは承知されていると思います。

与党内部にも改定をすべきと主張されている方達もおられます。涉外知事会の度重なる要望もあります。私は、日本側の意思は、いつまでもこのままであると認識しておりません。次期大統領候補が、現在日米関係をどう考え、日米地位協定についてどのように理解しているのか伺うのは、両国の今後にむけ極めて重要なことと考えています。回答が必ずや寄せられることを期待し、お知らせさせていただきます。

以上